

N-アシル-脂肪酸-L-アミノ酸アミドヒドロラーゼ

Cat. No. EXWM-4403

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 Zn²⁺を含む。この酵素は動物に存在し、N-アシル化またはN-アセチル化されたアミノ酸（L-アスパラギン酸を除く）の加水分解に関与している。メルカプチュリック酸（N-アセチル-L-システインのS-共役体）および中性の脂肪酸N-アシル- α -アミノ酸に作用する。一部の細菌アミノアシル化酵素は、EC 3.5.1.14およびEC 3.5.1.114の基質特異性を示す。参照: EC 3.5.1.15、アスパルタミン酸アシル化酵素およびEC 3.5.1.114、N-アシル-芳香族-L-アミノ酸アミドヒドロラーゼ。

別名 アミノアシラーゼ 1; アミノアシラーゼ I; 脱水ペプチダーゼ II; ヒストザイム; ヒッピーリカーゼ; ペンザミダーゼ; アシラーゼ I; ヒッピーユース; アミド酸脱アシル化酵素; L-アミノアシラーゼ; アシラーゼ; アミノアシラーゼ; L-アミノ酸アシラーゼ; α -N-アシルアミノ酸加水分解酵素; ロングアシルアミドアシラーゼ; ショートアシルアミドアシラーゼ; ACY1 (遺伝子名); N-アシル-L-アミノ酸アミド加水分解酵素

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.5.1.14

CAS登録番号 9012-37-7

反応 (1) N-アシル-脂肪酸-L-アミノ酸 + H₂O = 脂肪酸L-アミノ酸 + カルボキシレート; (2) N-アセチル-L-システイン-S-コンジュゲート + H₂O = L-システイン-S-コンジュゲート + アセテート

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。